



終末期医療について知りたいと、私のところには毎日のように取材や講演依頼が舞い込みます。

しかし、誰もが終末期を経て死に至るわけではありません。日本人のおよそ5%は、終末期がなく、突然しくなります。事故死や災害死の場合もあります。が、そうした外的要因ではなく、ある日突然、逝ってしまう人がいるのです。

突然死とは、ほぼ瞬間的な死、あるいは急性の症状が現れてから24時間以内の自然死と定義されています。決して高齢者だけの話ではなく、若い人においても突然死はあります。

残念ながら、この若手俳優さんも突然逝ってしまいました。舞台や映画でも活躍中だった俳優の滝口幸広さんが、11月13

132 俳優 滝口幸広

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京大学医学部卒業後、大阪大学第二内科入局。1995年、兵庫医科大学で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。



親孝行息子を突然襲った魔の手

日に亡くなりました。また34歳でした。死因は、突発性虚血心不全との発表です。突然死の中で、最も多い原因が心臓の疾患です。虚血とは、心筋に血液が供給されなくなった状態のことをいいます。

死の2日前までブログやインスタグラムを更新。年末に明治座の舞台が控えていたようで精悍(せいいかん)な顔の写真のアップが、突然倒れて意識を失います。その後、うめいたり、甲高い軋(いびき)をかく人もいるようです。人によっては、倒れて間もなく心肺停止となり、救急搬送しても救命できないケースがあります。

もしも突然、今まで感じたことのない胸の痛みや息苦しき、肩から上腕にかけての痛み、吐き気、下顎痛などを感したら、迷わず救急車を要請してください。虚血性心疾患のリスクとして、肥満や高血圧、ストレスなどが長年言われてきました。しかし近年「ブルガタ症候群」という致死性不整脈との関連も指摘されています。

突然倒れて意識を失います。その後、うめいたり、甲高い軋(いびき)をかく人もいるようです。人によっては、倒れて間もなく心肺停止となり、救急搬送しても救命できないケースがあります。もしも突然、今まで感じたことのない胸の痛みや息苦しき、肩から上腕にかけての痛み、吐き気、下顎痛などを感したら、迷わず救急車を要請してください。虚血性心疾患のリスクとして、肥満や高血圧、ストレスなどが長年言われてきました。しかし近年「ブルガタ症候群」という致死性不整脈との関連も指摘されています。

過去に失神の既往がある、血縁者に60歳以下で突然死した人がいるという方は、一度、心電図を記録し専門医に相談することを勧めます。もしもブルガタ症候群と診断されたら、植込み型除細動器(ICD)という死のリスクを回避する処置を講じることもあります。滝口さんの先のブログですが、死の5日前には、レストランを営むご実家のお手伝いをした様子が書かれています。突然、愛息を失ったご両親の辛さは、計り知れません。どうして、親孝行の子から先に逝ってしまうのでしょうか…